

メーデー宣言

私たちは、本日第 83 回大阪地方メーデーを迎えた。

2011 年 3 月 11 日に未曾有の大災害となった東日本大震災によって多くの命が奪われ、今なお被災地の方々は、大変な苦労を強いられている状況下にある。

私たち連合大阪は、震災直後から行政や政党、経済団体に政策的要請をするとともに、連合に結集して、カンパやボランティア活動に取り組んできた。私たちは、これからも被災地とつながり絆を深め、復興・再生を軸に「雇用と生活の再建」に向けて全力をつくす。

東日本の復興・再生をめざすなか、デフレの進行、円高など、取り巻く環境は非常に厳しく、また、非正規労働者の増加、勤労者の雇用不安、賃金不安、社会保障への不安などが影響し日本経済は、低迷が続いている。

私たちは、格差是正、底上げ・底支えの取り組みをすすめるとともに、適正な成果配分を追求する春季生活闘争を強化する。適正な配分により中間層を厚くし、消費の拡大、内需拡大へつなげ、持続可能な成長を達成しよう。

また、大阪においては、地方自治・分権のあり方や住民生活への影響、さらには地域経済の活性化への関連といった視点での丁寧な検証がないままに「大阪都構想」が進められようとしている。私たちは民主主義の原則にのっとり誠実な行政運営を強く求める。

橋下大阪市長による、違法な「職員アンケート」の実施や組合事務所の明け渡し要求など、団結権を侵害する行為は看過できない。こうした行為は、労働組合の存在を否定するものであり、憲法に認められた労働者の団結をも危機に陥れるものである。

連合大阪は、こうした行為を断じて許すことはできない。

メーデーは国際連帯の日である。依然として多くの国で労働者の基本的な権利が侵害されている。仕事に就けない若年者の増加や、社会的保護の未整備による貧困や格差、人権侵害は世界的な課題である。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）や諸外国の労働組合と連帯し、自由で民主的な労働運動とすべての人にディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）が実現される取り組みを推進する。

今こそ、すべての働く者の連帯と、NPO・NGOとの連携で「働くことを軸とする安心社会」の実現に総力を結集しよう。

2012年5月1日
第83回大阪地方メーデー